

印刷

かるがも



発行所 千葉県こども病院
〒266-0007 千葉市緑区辺田町 579-1
TEL 043-292-2111
FAX 043-292-3815
<http://www.kodomo.umin.jp/>

第23号

こども病院県民公開講座

千葉県こども病院では毎年県民公開講座を開き、日常生活に役立つ医療情報を県民の皆様にお伝えするようにしています。今年下記の内容で開催致します。会費は無料ですのでふるってご参加下さい。

=====

『こんな時どうする? 「発熱・下痢・嘔吐・骨折」』

千葉県こども病院
小児救急看護認定看護師 初芝 寿子

『おうちでできるインフルエンザ予防対策』

千葉県こども病院
感染管理認定看護師 工藤 真理恵
特別講演

『気づいてますか? こどもの気持ち一塾・学校・小児病棟で子どもたちとかかわって』

順天堂大学医学部附属順天堂医院
がん治療センター
臨床心理士
西尾 温文先生



=====

日時:平成21年11月7日(土)

14時~16時30分

会場:千葉市民会館 小ホール
千葉市中央区要町1-1

=====

人数:316名 入場無料です。

事前申込優先になります。

申込先:千葉県こども病院医事経営課
住所、氏名、電話、申込人数を

電話:043-292-2111

FAX:043-292-3815

E-mail:kodomo-hp@mz.pref.chiba.lg.jp
にご連絡下さい。

ボランティア活動

千葉県こども病院にはボランティアの方々が入院中の子ども達のため、また入院中で病院より遠く通院が困難な患者さんのご家族の宿泊施設の清掃などの活動をして下さっています。そこでその活動をご紹介します。



かるがもボランティアーズ

千葉県こども病院には、病院敷地内に家族のための宿泊施設「かるがもハウス」があります。これは平成12年に開設され、以来、常にほぼ満室の状態でご家族の皆さんに活用されていますが、この施設をいつまでも、きれいに使用できるよう組織されたのが「かるがもボランティアーズ」発足の由来です。

活動が始まって約10年、清掃ボランティアから始まった「かるがもボランティアーズ」は、そのほかの活動も行うようになり、現在、入院中の子どもたちの遊び相手、移動図書、園芸ボランティア(私たちは花ボと言っています)を行っています。



ご存じのように、こども病院には入院しなければならなくなった子どもたちがたくさんいます。遊び盛りの子どもたちです。本来なら外で走り回ったり、家の中にも「うるさい!」としかられるくらい元気になっている子どもたちです。そんな子どもたちが何らかの病気で、しかも場合によっては、病棟のベッドの上だけの世界に長期間いなければならないこともあるのです。そこに少しでも遊びを持ち込む人が来てくれたらという病院のスタッフの皆さんの願いで遊びのボランティアが誕生しました。





移動図書もそういった願いから生まれた活動です。遊びと言ったらゲームばかりで、本を手にとることが少なくなった子どもたちを心配した病院のスタッフが、本を貸し出したり、ベッド脇で読みきかせをしたらどうだろうかと提案しました。当初、まるで関心を持たなかった子どもたちですが、徐々に漫画や絵本に手を出すようになりました。やがて先輩の入院児が、後から入院してきた子どもに「移動図書が来たよ」と誘うようになり、今では月2回の移動図書の病棟訪問がすっかり定着しています。最初は漫画しか読まなかった子どもたちが“読書”をする姿を見せるようになったのは、病院スタッフだけでなく、私たちボランティアにとっても、とてもうれしいことです。

“心も体も成長しながら”病氣と闘う、これが子どもの闘病の姿です。病氣が原因でその成長が阻害されることが少しでも減るように、心の成長を支援することはできるかもしれないという思いで活動を続けています。数年前からは、広大な病院敷地を色とりどりの草花で覆いたいと、大きな夢を抱き、“花ボ”が始まりました。外来に来る子どもたちが、そして入院している子どもたちも病室から、季節の移り変わりを感じる事ができればという願いです。

このように千葉県こども病院では、子どもたちやその家族が少しでも心穏やかに安心して闘病できるようにと、医師や看護師、そしてボランティアから成る“ボランティア委員会”が設置され、私たちボランティアの意見や希望に対しても常に耳を傾けてくださっています。病院全体でボランティアを支援し、それによって闘病中の子どもたちへの支援力をさらに高めようという熱意が伝わってきて、ボランティアにとっても大きな励みとなっています。

最初は“お手伝い”気分の一面があったものの、何年か続けているうちに、“何かを学ばせていただいている”と感じるようになりました。社会の一員として、社会参加の場を

千葉県こども病院で得たような気がします。ボランティア活動とは“・・・してあげる”ではなく、より良い社会を共に作る仲間作りなのかもしれません。

(アシスタントコーディネーター 井上富美子)
 (ボランティアにご協力頂ける方はこども・家族支援室尾出看護副部長にお問い合わせ下さい)

=====
こども病院における禁煙の取り組み



こども病院では平成18年7月より院内はもとより敷地内は全面禁煙になっています。

しかし、院内の植え込みや、駐車場にたばこの吸い殻が捨てられています。

環境の美化と禁煙を周知していただくため、職員を7つグループに分け、交替で週1回植え込みと駐車場に捨てられたたばこの吸い殻を回収しています。3年を経過した現在も残念ながらポイ捨ての吸い殻は多く、月間約1000本も回収されています。

吸殻の回収、ポイ捨ての禁止を呼びかけ、禁煙の推進と吸殻のない環境づくりに努めていきたいと思っています。

こども病院に来院される皆様におかれましては病院敷地内での禁煙と環境美化にご協力をお願いいたします。



=====
外来ホール情報コーナーのパソコン

1階外来ホールの情報コーナー内に、インターネットに接続できるパソコン2台を設置しました。



ご利用いただける時間帯は祝祭日を除く月曜日から金曜日の9:00～17:30です。市販のソフトによる有害サイト対策やウイルス対策も行っておりますので、どなたでも安心してご利用いただけますが、原則として自己責任でのご利用をお願いします。ご利用は一人30分ほどを目安としていただき、譲り合ってください。